

九大フィルハーモニー・オーケストラ



第209回 定期演奏会

ドヴォルザーク / 交響曲第7番 ニ短調 作品70

Dvořák / Symphony No.7 in D Minor Op. 70

ラフマニノフ / ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 作品30

Rachmaninov / Piano Concerto No.3 in D Minor Op. 30

シューマン / 序曲「メッシーナの花嫁」 作品100

Schumann / Overture "Die Braut von Messina" Op. 100

2022

12.19 Mon

17:30 開場 18:30 開演

アクロス福岡 シンフォニーホール

全席自由 / 1,000円

※未就学児は同伴者の膝上鑑賞無料。

※当日券は販売されない可能性があります。予めご了承ください。

指揮
米田 覚士

ピアノ独奏
牛田 智大

お問い合わせ

広報（御厨） tel 080-8585-5054

渉外（山本） tel 080-1782-1840

E-mail : qdaiphil@gmail.com

公式HP : <https://kyudaiphil.com>

チケット取り扱い

九大フィル公式ホームページ

チケットぴあ : <https://t.pia.jp> (Pコード 228-434)

アクロス福岡チケットセンター tel : 092-725-9112

アクロスWEBチケット <https://www.acrosticket.jp>

主催 九大フィルハーモニー・オーケストラ

共催 福岡県、福岡市、(公財)アクロス福岡、(公財)福岡市文化芸術振興財団

後援 福岡市教育委員会、読売新聞社、RKB毎日放送、九州朝日放送、九大フィルハーモニー会



オーケストラプロフィール

九大フィルハーモニー・オーケストラ Kyudai Philharmonic Orchestra

九大フィルハーモニー・オーケストラは、九州大学と福岡市近郊の大学の学生で構成される日本でも有数の永い歴史と伝統を持つアマチュアオーケストラである。現在、100名以上の現役部員が所属し、年2回開催される定期演奏会を目標に、精力的に活動している。1909年に九州大学の前身である福岡医科大学の楠保三郎氏によって創立され、以降、石丸寛氏や荒谷俊治氏、堤俊作氏を指揮に迎え、発展を遂げてきた。1924年には皇太子時代の昭和天皇ご成婚を祝す「摂政宮殿下御成婚 奉祝音楽会」にてベートーヴェン/交響曲第9番「合唱」第4楽章を演奏。一説に日本初演と言われている。さらにはメンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」やハイドン(L.モーツァルト)/交響曲「玩具」などの日本初演を果たすなど、明治から大正時代にかけての日本のオーケストラを牽引してきた。2009年には九州大学に先立って創立100周年を迎えるとともに、永年にわたる音楽文化の向上や地域文化の振興に大きな役割を果たしていることにより、福岡市民文化功労賞を受賞。2014年には鈴木優人氏を九大フィル初代ミュージック・アドバイザーに迎え、さらなる活動の充実を図っている。2018年には200回を数える定期演奏会を開催し、同年、東京のサントリーホールにて特別記念演奏会を開催した。さらに、2022年には東京オペラシティにて、第2回東京特別演奏会を開催し、活動の場を広げている。定期演奏会の他にも、九州大学伊都キャンパス内の日本ジョナサン・KS・チョイ文化館での毎月のクラシックセッション(アンサンブル演奏)の開催や九大祭での演奏、幼稚園での創作音楽劇上演など、地域に根差した文化活動を展開。官公庁や企業、学会からの依頼による出張演奏なども行っており、福岡県内の様々な場所において幅広い音楽活動を行っている。

指揮者プロフィール



よねだ さとし
米田 覚士
Yoneda Satoshi

指揮
Conductor

東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。
平成30年度安宅賞受賞。指揮法を小田野宏之、高関健、ピアノを長瀬賢弘の各氏に師事。
2017年6月に東京音楽大学特別講座指揮公開マスタークラスのオーディションに選出され、パーヴォ・ヤルヴィ氏のレッスンを受講。
同年8月に熊本県立劇場にて山田和樹氏による公開講座を受講。
2021年5月、フジテレビ主催、ノイタミナ presents シネマティック・オーケストラコンサートにて東京21世紀管弦楽団へ客演。
2021年10月、第19回東京国際音楽コンクール<指揮>に入選。
これまでに札幌交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団などを指揮。

ソリストプロフィール



うしだ ともはる
牛田 智大
Ushida Tomoharu

ピアノ
Piano

1999年いわき市生まれ。父親の転勤に伴い、生後すぐ上海に移り6歳まで育つ。
3歳頃よりピアノを始め、2012年(12歳)、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。同年3月、クラシックの日本人ピアニストとして最年少(12歳)でユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。以降、ベスト盤を含む9枚のCDをリリース。
これまでに国内外の著名指揮者やオーケストラと共演を重ね、全国各地の演奏会で活躍。
2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せて聴衆賞およびワルシャワ市長賞を受賞。2019年3月には出光音楽賞を受賞。

©Ariga Terasawa